

楽々園学区を支える人達から



楽々園公民館長 田中 龍次
公民館は、地域の皆様の
憩いの場です。
明るい笑顔でお迎えます。
楽しい人生を送りましょう。



美隅公民館長 増田 誠
地域の皆様にはいつもお世話に
なっております。



五日市西民生・児童委員会会長 吉田 廣
楽々園学区の更なる発展のため
微力ですが努力したいと思っています。
よろしくお願いします。



五日市交番所長 木戸 秀隆
平素は警察業務にご協力
ありがとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。



五日市南中学校校長 藤川 要造
本校は、今年で41年目になりました。
「気づき」「考え」「実行」できる生徒の
育成を目指して日々頑張っております。



楽々園小学校校長 森田 賛子
地域の温かい眼差しで子どもたちの
心が育まれています。感謝です。



五日市南地区包括支援センター所長 山澤 由美子
今年も地域の皆さんと一緒に
頑張っていきます。
よろしくお願いします。



佐伯消防署 海老園出張所長 深居 宏志
災害から命を守るのは
やはり地域のつながり。
身近な訓練にご参加下さい。



楽々園学区福祉協議会とは

順序不同、敬称略（3月現在）

地域住民の生活向上、福祉増進を図り、地域の連帯と発展に寄与するため、活力と思いやりのある福祉のまちづくりを推進することを目的とした地域の自主的団体です。

☆構成

地区の住民(町内会、自治会)、機能別・世代別の団体(民生委員児童委員協議会、女性会、体協、PTA、老人クラブ、子ども会…)などで構成されています。

☆現況

- ・地域での見守りや訪問並びに生活支援の必要な人のために「近隣ミニネットワークづくり推進事業」
- ・地域で参加の和を広げる「ふれあい・いきいきサロン設置推進事業」
- ・身近な地域でのボランティア参加や相談をしやすくする「地区ボランティアバンク活動推進事業」
- ・配食訪問事業の支援、病弱な一人暮らしや夫婦二人暮らし高齢者等への安否確認や声かけのために、手づくりまごころ弁当配食の活動

広報誌は毎年3月・9月に発刊します。



「海老塩浜」塩づくりの歴史を後世に！

海老塩浜プロジェクト 代表 山路 達也

「楽々園」というと遊園地や海水浴場を思い起こし、今でも心を温めてくれる力を秘めています。この辺りは古くは海で地域の歴史は、江戸時代の初めから明治の終わりにかけて行われていた製塩業に始まります。地元には、「塩屋神社」や「海老塩浜踏切」そして「入浜塩田跡」などが残っていますが「塩のまち」の歴史は意外と知られていません。

そこで私たちは、地域の歴史を学び、まちづくりに生かそうと2009年9月に「海老塩浜プロジェクト」を立ち上げ現在に至っています。約10名のメンバーは、月に2回の定例会に集まり地域の歴史について語ったり各自の情報交換などいろいろ話合っています。

新しい課題や難しい問題に対し、常に真剣に取り組み激論になることもあります、「海老塩浜」への思いと愛着が溢れており私たちにとって充実した時間帯です。

好奇心旺盛な、つわもの達の集まりです。歴史資料を読んだり、時には塩田が行われていた他地域の視察など見聞を広めています。

主な活動として、小学校への出前授業参加(小学生向けに作成した絵本を使った塩づくりの歴史・新旧の写真と比較した私たちの町の今と昔など)そして春休み・夏休み子ども教室の開催(海老塩浜の歴史跡散策・塩づくりの実験)、など幅広く活動しています。

あせらず急がずのんびりと、まちの歴史を紐解きながら地域の皆様に届けて行きたいと思っています、

興味のある方は是非一緒に活動してみませんか。

定例会は、第1.第3木曜日の午後です。(楽々園公民館にて開催)



隅の浜3丁目体育委員 田中 博之

平成28年度の楽々園学区親善大運動会で、緑組(隅の浜3丁目+美の里1丁目)が優勝を勝ち取ることができました。26年2位、27年3位と今一步で優勝を逃していただけに、喜びもひとしおでした。参加いただいた、両町内会の皆さんありがとうございました。

さらに緑組の団結を強め、今年の運動会も優勝を目指しましょう。



ぶっちぎりの一着



あっちにこっちに横転がし



接戦！写真判定か





楽々園生誕80周年記念ショートムービー

「楽々園物語」～80年めのぼくらの町で～作成及び上映会を終えて

楽々園という名が誕生して昨年で80周年を迎えました。1936年（昭和11年）9月に「電車で楽々行ける遊園地」として楽々園遊園地が開業され、遊園地開業にあわせて「塩浜駅」を「楽々園駅」に改称し、現在の楽々園という地名が生まれました。

楽々園生誕80年という節目に、楽々園の映画を作れば、たくさんの地域の方に見ていただければ、楽々園を見つめ直す良い機会になるのでは！と思い、昔の遊園地の貴重な映像や精巧な模型を用いて、初の映画制作に臨みました。スタートは昨年3月、公募で集まったメンバーで「楽々園ムービープロジェクト」を立ち上げました。映画のコンセプトやストーリーを話し合い、撮影の段取りや役割分担など、初めての映画作りに戸惑いながらも、11月6日の上映会イベントに向けて心を一つに取り組みました。

映画出演者も、エキストラを含めると総勢69名が集まり、夏の強い日差しの中、汗をかきながらの撮影となりました。



当時を再現



撮影風景



上映会イベントと制作された皆様

上映会イベントでは、冷え込みが厳しい中、地域内外の多くのボランティアスタッフの協力のもと、たくさんの来場者を迎えることができました。

上映会イベントを行う場所は、かつて楽々園遊園地があった場所、ファミリータウン広電楽々園において他にない！という思いから、屋外駐車場を客席にし、ヤマダ電機の壁面に映像を写し、手作りのステージ上でのクイズや音楽ライブ、かつての遊園地に関わりがある方々のトークショーなど、盛大に上映会を行うことができました。

会場からは、「行った、行った！」「懐かしいのお～」と昔の楽々園を思い起こす声が聞こえ、80周年の歴史が色づいた一日となりました。

映画「楽々園物語」～80年めのぼくらの町で～は1月に長野県松本市で行われた映画祭 第9回商店街映画祭に見事入選することができました。

ご報告の意味も含めまして、今後上映会を予定したいと思います。

80周年を終えて、次にむかうところは100周年です。この80周年で様々な変化と発展がこの地域には存在してきました。遊園地が誕生した頃のように、これからも楽しく、笑顔あふれる町になることを心より願っています。

敬老の日のつどい

9月17日地域の敬老会が開催されました。「敬老会じゃなくて女子会よ！」とはつらつと入って来られ開口一番の声にオーラがワーッと伝わって来ました。むこうの方では「オー、元気かいの一」と、会話がとてもなごやかです。

そして式典がはじまりました。永井連合町内会長のわかりやすい今の地域の取り組みのお話しの中で「楽しくあんしんネットワーク」が進み、心強い支援者が近い内にデビューされるということです。私達も自分をどのように管理するか、どこに相談すればよいかを、しっかり把握しておく必要があると考えさせられました。又幼稚園児の歌声の中で、横転のパフォーマンスがとっても可愛くほほえましい姿に感動しました。続いての南中のブラスバンドはゆったりと流れる「里の秋」、「赤とんぼ」と心癒され水戸黄門の曲の「この印籠が目に入らぬか」でカツを入れられどっと会場が笑いであふれました。最後はアンコールアンコールで「それいけカープ」です。赤いユニホームにバット姿で指揮者が盛り上げ、くしくもカープの優勝にひたっている最中の行事です。もうたまりません！会場はワーッと便乗し、一丸となって大きく拍手を打ちました。真っ赤なジェット風船がシューッと舞い上がり、私達皆は良き敬老会であったと確かな手ごたえを感じ、軽やかにあとかたづけを済ませることが出来ました。

すごい地域ですね。

広報委員

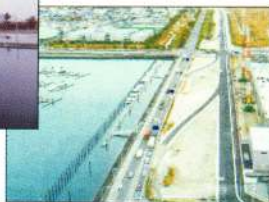


廿日市草津4車線開通イベント



あいにくの雨

2月から運用開始



お知らせ

- 5月…学区フェスティバル
- 7月…三世代交流そーめん流し
- 8月…盆踊り大会
- 9月…敬老の日のつどい

編集後記

私達の街、広島市の西海岸。洋々と海風が吹いて来るこの町から、第七号をお届けします。

地域の要となる社協の会長が突然逝かれ、この広報誌の基を作り、さあ次へという処でした。私達はその志を継いで一同力を合わせて仕上げ、皆様にお送りいたします。どうぞ一読を。

佐伯 石川 田原 山本 平林

ふた